

県立新発田病院だより

第69号 2022年9月発行

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新発田市本町1-2-8
TEL.0254-22-3121 FAX.0254-26-3874
<http://www.sbthp.jp/>

【当院の基本理念】

1. 県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3. 保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4. 教育・研修を積極的に行い、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

目次

- P 1. 巻頭言：下越医療圏の未来予想図
P 2. 病院トピックス：新型コロナウイルス感染症との付き合い方
P 3. 新型コロナウイルス感染症 PCR検査と抗原検査の違い、ミニクイズ、患者さんの権利
P 4. 患者さんの声、編集後記

下越医療圏の未来予想図

院長 田 中 典 生



人口減少、少子高齢化、医師不足などの言葉はすっかり定着していますが、今後の医療、介護はどのようになっていくのでしょうか。本日はこの下越地域の医療についての未来予想を紹介したいと思います。

下越医療圏は新発田市、村上市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村の6つの市町村を合わせた地域をいいます。実際の医療の現場では新潟市北区、阿賀野市、阿賀町など下越医療圏に隣接する新潟医療圏北東部も含まれています。下越医療圏の人口は2015年には21万人でしたが、2020年には20万人と減少し、2025年には19万人、2040年には15.8万人程度になると予想されています。一方、75歳以上の高齢者人口は2015年から2020年は3.6万人ですが2025年には4万人と増え、2040年には3.9万人と減少に転ずる予想ですが、高齢化率にすると2020年は18%、2040年には24.6%と高齢化が進むと予想されています。医療需要については2025年以降下がりはじめ2040年には今の需要の88%となります。一方介護需要は今後も上がり続け、2030年にはピークを迎えます。その後減少に転じ2040年には今と同程度、その後は少しずつ

下がっていくと予想されています。疾患別にみますと肺炎、循環器の疾患は増え続け2030年にピークを迎えます。糖尿病や脳神経の疾患は2035年まで横ばいでその後減ってきます。がん患者はすでに少しずつ減っており、2040年には今の9割程度になる予想です。

さて、全国的に医師不足と言われ、中でも医師の偏在指数が全国一低い新潟県の医師数は今後どうなるのでしょうか。医学部の定員増加などにより少しずつ医師数は増えており、全国的には2035年頃には供給が需要に追いつくと予想されています。しかしそれが全国に均一にちりばめられるわけではありません。新潟県の医師数は今よりは増えますが、やはり全国一少なく1,500人程度不足するとの予想です。

いかがでしょうか。ゆっくり進む変化を実感することはできませんので、ちょっとピンときませんよね。しかし、いつの間にか少しずつ人口、年齢層、病院であつかう病気の種類が変化していています。限られた医療者で効率のよい医療を提供していかなければならないことは今も、未来も変わりありません。今後も、より良い未来をめざして努力してまいります。



新型コロナウイルス感染症との 付き合い方

感染管理認定看護師 成田清子



新発田病院には、毎日、新型コロナウイルスで入院治療が必要な患者さんが入院してきます。外来でも多くの患者さんから発熱や検査の相談があります。当然ながら、病院で働く職員も新型コロナウイルスにかかってしまうことがあります。ウイルスは、人を選びません。身近な人がコロナ陽性、または濃厚接触者になると、自分が感染しているのではないかと不安になると思います。感染症は流行もするけれど、落ち着く時期も訪れます。そこで、今できることを再確認し、流行を乗り越えましょう！

☆すべての方へ

- 1) 症状がある・体調が悪い時は外出しない、仕事は休む、会合には参加しない。
※検査キットで陰性でも、新型コロナウイルス感染症のことがあります。
- 2) マスクなしでの会話を控える、マスクをしてない相手とは距離(1m程度)を置く。
※飛沫をあびるリスクを低くします(ウイルスは、咳やくしゃみ、水分を多く含んだしぶきやつばに含まれます。)
- 3) 過ごす部屋は、エアコンを使用しても、時々窓やドアから風を入れましょう。
※換気の悪い密閉空間は感染リスクが高くなります。
- 4) 口鼻喉に違和感がある時、会話する時はマスクで口と鼻を覆います。
※人にうつさないためのエチケットです。

- 5) 手を洗いましょう。洗っていない手で、口・鼻・目に触れない。
※ウイルスが入るのを防ぎます。手洗いで自分自身を守ります。

☆濃厚接触者となった方へ

- 1) 症状、体調の変化がないか、1週間は自身の体調不良に注意します。不調を感じたら、相談窓口、職場や学校に連絡しましょう。
- 2) 後に症状が出るかもしれないことを想定し、マスクなしの会話を控えるなどうつさない為の行動をしましょう。
- 3) 陽性者のお世話をする方は、マスクを着用します。お世話の後は手洗いをします。陽性者との食事は別にとるなど、家庭内でも、もらわない為の対策をしましょう。

☆コロナ陽性で自宅療養される方へ

- 1) パニックにならず、落ち着いて療養しましょう。具合が悪くなった時の連絡先を確認する、家族や支援者、身近な人に自宅療養を伝えておきます。
- 2) 飲めず食べれずぐったりする、唇が紫色になった、座らないと息ができない、もうろうとしていて返事がない時は、迷わず救急要請です。

新発田病院の関係者が一丸となって対応します！一緒に感染対策！with Corona!

新型コロナウイルス感染症 PCR検査と抗原検査の違い

臨床検査技師長 筑波 聡



コロナ感染症は若干減少傾向ではあるが、未だ高止まりで推移しています。

コロナ感染症の検査として幾つかの検査方法があり、毎日のように耳にしているPCR検査と抗原検査の違いをお話しさせていただきます。

PCR検査

Polymerase Chain Reaction（ポリメラーゼ連鎖反応）の略称であり、現在新型コロナウイルスが体内に存在しているか（又は感染しているか）を調べることができる検査であり、微量の遺伝子断片を増幅して検出する方法であります。

検体として鼻咽頭（鼻の奥）をぬぐった粘液や唾液を採取して検査を行います。しかし、鼻咽頭（鼻の奥）の場合は医療機関で行われる行為であり、結果が出るまでに時間がかかり費用も高くなります。

精度は高いものの、鼻咽頭（鼻の奥）でウイルスは増殖することが多いため、唾液や感染初期でウイルス量が少ない鼻咽頭（鼻の奥）の検体では陰性となることがあります。

抗原検査

新型コロナウイルスに対する抗体を用いて抗原（新型コロナウイルス表面のタンパク質の断片）

を検出する方法です。

PCR検査と同じで現在新型コロナウイルスが体内に存在しているか（又は感染しているか）を調べることができ、検体として鼻咽頭（鼻の奥）をぬぐった粘液又は鼻腔粘液（2cm程度鼻の中）や唾液を採取して検査を行います。

この抗原検査には、定性検査と定量検査があります。定性検査は簡単なキットで行い、新型コロナウイルス抗原が（+）：存在するか、（-）：存在しないかの判定になり、安価で短時間で結果が出ます。また、定量検査は安価ではあるが専用の測定装置を使うために行う施設に限られ、新型コロナウイルス抗原がどのくらいあるか数値化して、その数値が一定以上認めると陽性となります。

ただし、PCR検査とは異なり検出にはより多くのウイルス量が必要となり、PCR検査に比べて精度が劣ります。

比較表

	PCR	抗原定性	抗原定量
目的	感染状況	感染可能性	感染可能性
採取	鼻咽頭	鼻腔	鼻咽頭
採取場所	医療機関	自身で可能	医療機関
検査時間	数時間	15分程度	30分程度
精度	高い	劣る	劣る

ミニクイズ



毎年9月1日は防災の日です。「もしも」に備えて防災備蓄の水や食料の準備はできていますか？家庭では最低何日分用意しておくのが良いのでしょうか？

- ① 1日分
- ② 3日分
- ③ 7日分



患者さんの権利

- 患者さん並びにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。その上で患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択することができます。
- 患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊重される権利があります。国籍、人種、信条、社会的身分、経済的狀態などによる差別を受けることはありません。
- 患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さん並びにご家族は、自らの希望・意見を述べることができ、それを尊重される権利があります。

回答は4ページにあります。



投書箱から

《患者さんの声1》

毎日美味しいお食事を作ってくくださった皆様へ！！

私は5月9日入院、10日に手術を受け、5月28日退院となりました。この間毎日美味しいお食事を作ってくくださった皆様に感謝いたします。今なお入院されておられる患者さんのためにも体に気を付けてくださいネ！！ありがとうございました。

《回答1》

温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後も患者の皆様の治療、療養をサポートするための食事作りに努めてまいります。

《患者さんの声2》

以前から貴病院で診察を受けている者ですが、4月末に体調が悪くなり18日間程入院しました。お世話になりました。外来の先生には、診察の度に診断内容について時間をかけ分かりやすく説明してくださいました。

入院してみて、スタッフの皆さんが昼夜を問わず患者の立場に立って横の連絡をしっかり取り合う姿を見て対応が素晴らしいと感じました。また誇りを持って取り組んでいるのがよく分かりました。

責任のある仕事で大変でしょうが、地域住民、患者のために現在の職場の雰囲気を維持して頑張っていると願う者です。

《回答2》

感謝のお言葉をいただき、ありがとうございます。

今後もスタッフ一同、患者さんが安心、安全に入院生活を送れるよう努めてまいります。

《患者さんの声3》

子どもが事故による重傷で病院に運ばれ、親の私たちが不安でいっぱいとき、スタッフの皆様には本当に良くしていただき、また何度も何度も励ましてくれたのですごく安心しました。子どもがさみしいとき、不安なときに何度もナースコールをならし皆さんを困らせたこともありましたが、嫌な顔もせず対応していただき本当にありがとうございました。本当に先生方、看護師さん方本当にありがとうございました。

《回答3》

感謝のお言葉をいただきありがとうございました。

不安の軽減に繋がる看護の提供ができたことをスタッフ一同うれしく思います。

これからも患者さんやご家族の立場に立ち、患者さんが安心した入院生活が送れるよう努めてまいります。

答え ②3日分

過去の災害で道路状況等の回復までにかかった平均的な日数が3日ということで、水や食料は最低でも3日分、できれば7日分確保しておくと言われています。大人1人が1日に必要な水の量は3L、3日分で9Lになります。

ミニクイズ ～回答と説明～



編集後記

第68号 2020年8月号をもってしばらくお休みしていた「県立新発田病院だより」をこのたび復刊させることができました。新型コロナウイルスはいまだ収まってはおりませんが、私たちの病院が引き続き、当院の基本理念のもとしっかり活動していることのメッセージをこれからもお伝えしていければと考えています。

《編集委員》

清野 康夫	三井田 博	浅野 堅策
川端 良徳	米持 賢一	神田 真志
長橋 美沙	長谷川京子	大橋 典子
塚原 康夫	宮島 悠	渡辺 麻理